事業所名　：　デイサービスセンター　亀天荘

１．理念・基本方針

運営理念	ご利用者一人ひとりが「来てよかった」と思って頂けるようなサービス提供を行うと共にご家族が安心して託せる家庭的でぬくもりのある事業所運営を目指します。
運営方針	① 安心してご利用出来るように、安全を最優先しながら、常にご利用者の声に耳を傾け、親切で丁寧な優しい介護を目指します。 ② 地域、世代間の交流拠点となり、地域高齢者がいつも気軽に利用できる開かれた施設づくりを目指し、心地よい雰囲気の中、好きな活動が楽しめる環境を提供致します。 ③ 個々に目標を持ち、更なるスキルアップを図り、質の高い事業所の成長を目指すと共に、何でも話し合える風通しの良い笑顔の職場を目指します。

２．重点目標

重点目標	在宅の要支援者・要介護者に対して、可能な限り慣れ親しんだ地域で生き生きと生活出来るように支援していく。利用者、家族の要望を聞き、ご利用者一人ひとりを大切にしたサービスの提供を目指します。
年　度　目　標	
①	人生の大先輩であるご利用者に対して、職員は敬う気持ちと学ばせて頂く気持ちを常に持ち、ご利用者一人ひとりに寄り添った介護を実践していきます。
②	ご利用者及びご家族のニーズを的確に捉え、ご利用者に最適な援助を実践するとともに、ご家族の身体的、精神的負担の軽減を図ります。 また、個別ニーズに対応した処遇を行うことにより、皆が生き生きとした生活が送れるよう他職種協働のチームケアに努めます。
③	地域や外部との連携を常に意識した取り組みと、柔軟なサービスの受け入れを行い、高齢者の孤立感の解消と心身のリフレッシュを行います。そのために、相談援助や個別のケアプログラムの充実を図り、在宅生活の継続に繋げる取り組みを行います。

中　長　期　目　標	
①	ご利用者が住み慣れた地域、生活環境で、可能な限り在宅生活を継続して行けるように個々に必要な日常生活支援及び機能訓練を行う。

重点目標	時代の流れに柔軟に対応しながらも、施設の特色を取り入れた企画を実施し、ご利用者が「来て良かった」と思えるような気持ちに繋がる質の高いサービス提供に取り組み、新たなご利用者の獲得に努めます。
年　度　目　標	
①	令和３年度介護報酬改定を踏まえ、ご利用者やご家族からの様々なニーズにしっかりと対応できるように、業務体制、書類関係の整備、見直しを迅速に行い、サービスの質の向上を目指します。
②	ご利用者個々の課題やニーズを通所介護計画書及び機能訓練計画書に反映させ、日々の観察や記録、定期的な評価を行い、ご利用者の状態に適したサービスの提供と、自立した生活の支援を目指します。
③	ご利用者及びご家族へ「挨拶プラス一声」を実践し、一人ひとりの職員が介護の相談窓口として対応することがでるように努めます。
中　長　期　目　標	
①	施設独自の特色を作り、皆様に選んで頂ける事業所作りを目指すと同時に様々なニーズに対応できる、職員の育成及び環境整備に努めます。

３．地域福祉活動計画・行事計画

重点目標	地域、世代間の交流拠点となり、地域高齢者がいつも気軽に相談、広く地域に情報を発信し開かれた事業所づくりを目指します。
年　度　目　標	
①	地域ボランティアの慰問の受け入れを積極的に行い、地域との交流を積極的に図ります。
②	同敷地内の保育園園児や（毎月交流）、地元小学生との交流（年２回）を定期的に行います。

③	集団行事や小グループでの外出行事もこまめに計画し、その時々の季節感も同時に感じてもらいながら地域交流を図っていきます。
中　長　期　目　標	
①	地域社会と密に繋がりのある事業所を目指し、ご利用者が社会参加する事で、孤立感の解消と心身のリフレッシュを行い満足度の向上を目指します。

【行事予定】

月	行事名	内容	予算
4 月	桜花見ドライブ	実報寺、朝倉ダム周辺	1,000 円
5 月	藤見ドライブ	喜多台公園	500 円
6 月	紫陽花ドライブ	あじさいロード	500 円
7 月	七夕	笹飾り作成	無料
8 月	手作りおやつ	かき氷パーティ	750 円
9 月	敬老会	特養合同、職員による出し物	3,000 円
10 月	運動会	紅白対抗戦	無料
11 月	文化祭 紅葉ドライブ 秋祭り	利用者、職員の出展 仙遊寺 法人全体行事、地域住民参加	無料 500 円 特養に含む
12 月	クリスマス会	職員による合奏や演奏	3,000 円
1 月	初詣	宮ノ内神社	無料
2 月	節分 梅見ドライブ	豆まき 小松町	無料 1,000 円
3 月	ひな祭り	職員やボランティアにて演奏会	1,000 円
毎月	誕生日会	誕生日のお祝い、プレゼント	1,000 円
随時	ボランティア	地域の方々による慰問	3,000 円
随時	子供達との交流	託児所や、小学生との交流	2,000 円

４．研修計画

重点目標	介護のプロとして意識、専門性、人間性等、より良いサービス提供をするため、内部研修、外部研修に積極的に参加し、正しい介護知識や技術の向上を図ります。

年　度　目　標	
①	取得可能である資格取得（介護福祉士・介護支援専門員・認知症実践者等）にチャレンジし、専門性を高めます。
②	外部研修（機能訓練・レクリエーション研修）を積極的に受講し、内部研修での情報共有に努めることで職員の介護に対する知識の向上と実践対応の幅を広げます。
③	職員全員が毎月担当制で内部研修を行い、身近な例題を用いての疑問や問題の解決に結びつけ業務の統一を図ります。
中　長　期　目　標	
①	職員ひとり一人が自己研鑽を怠らず、専門知識や技術の習得をし、質の向上に努めます。

【研修計画】

月	項目	内容	参加者
4　月	介護報酬改定について	新制度についての理解	全職員
5　月	交通安全研修 接遇について	送迎時の心構えと法人としての運転マナーについて 介護職員のマナーについて	全職員
6　月	感染症予防	食中毒予防と対策について	全職員
7　月	災害対策について	各種防災に備えての準備と対応について	全職員
8　月	高齢者虐待について	虐待種類の確認、デイ利用中に考えられる虐待について	全職員
9　月	緊急時の対応	緊急時の対応、AED の使用方法	全職員
10 月	介護事故とヒヤリハット	デイで多い事故とヒヤリハットの検証分析と記録方法	全職員
11 月	感染症予防	インフルエンザ、ノロウイルスの対応方法	全職員
12 月	認知症の理解	認知症の種類と症状、対応方法事例検討会	全職員
1　月	身体拘束について	どの様な事が身体拘束になるのか、デイ内で考えられる身体拘束について	全職員
2　月	守秘義務について	守秘義務の重要性について	全職員

3　月	振り返りと目標共有	今年度の反省と新目標の共有について	全職員
随　時	レクの質の向上について	レクの基本を踏まえながら、現プログラムの見直し（集団・個別） 研修会参加、勉強会の実施	全職員
随　時	通所介護計画について	ケアプランと機能訓練計画書との連動性のあるプランの作成と評価について	全職員
随　時	機能訓練について	機能訓練計画書のプランを基に、利用者個々に適切なケアを統一して実施	全職員
随　時	業務遂行と役割	現在の業務についての改善点について	全職員

＜外部研修＞

・認知症介護実践者研修　愛媛県主催

・介護技術向上講習会　　愛媛県主催